

『尾道市立大学日本文学論叢』第14号目次（平成30年12月）

創作

「ミルックラウン」

荒川 遥

小林多喜二「一九二八年三月十五日」  
― テクストに見る「伝達」の手法 ―

秋山 千紘

サナギの旅

田端 敏之

平成二十九年度卒業論文・修士論文題目

研究論文

中世書札礼における「脇付」記述の類似 服部 圭

彙報

― ロドリゲス『日本大文典』「女子の消息に就いて」の  
典拠調査から ―

平成二十九年度三年生研究発表会発表題目

『温故抄』について

藤川 功和

『温故抄』の錯簡について

財津 奈々

坂口安吾「墮落論」の反響

原 卓史

― 文学史のゆくえ ―

川端康成「虹いくたび」論

潮崎 文香

― 作品内のジェンダー・バイアス ―